

単元構想シート ○○中学校 第1学年 国語科 「竹取物語」のイチオシの登場人物を紹介しよう。～蓬莱の玉の枝―「竹取物語」から― 全8時間

<p>単元目標 (育成したい資質・能力)</p>	<p>単元目標：「竹取物語」のイチオシの登場人物を紹介しよう。</p> <p>○(3)我が国の言語文化に関する事項</p> <p>ア 音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむこと。 [知識及び技能]</p> <p>○C 読むこと</p> <p>イ 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に考えること。</p> <p>オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。 [思考力、判断力、表現力等]</p>	<p>二つの側面</p> <p>A…主に文章や図、グラフから読み解き理解する力</p> <p>B…主に他者とのやりとりから読み解き理解する力</p>	<p>①発見・蓄積 必要な情報を確かに取り出す</p> <p>②分析・整理 情報を比較し、関連付けて整理する</p> <p>③再構築 自分なりに解決し、知識を再構築する</p>
------------------------------	---	--	--

単元の流れ ○主な学習活動 □指導上の留意点	○「読み解く力」を育成するための手立て	「読み解く力」の育成に重点を置いた目指す児童生徒の姿	
		A：文章・グラフ・図から	B：やりとりから
<p><b>事前学習</b></p> <p>◎「竹取物語」を様々な現代作家の現代語訳・漫画・絵本を用意し、学習までに物語にふれる。</p> <p>□生徒の目に留まりやすい廊下などの共有スペースなどに図書資料を設置し、興味関心を持ち、内容を理解しておけるようにする。</p> <p><b>第一次【第1時】</b></p> <p>① 登場人物の紹介が単元のゴールだと知り、魅力が伝わる人物紹介の内容について検討する。</p> <p>② さまざまな古典作品や「竹取物語」の「冒頭部分」に触れ、古文の特徴をつかみ、これからの学習の見通しをもつ。</p> <p>□授業者が見本を示し、「イチオシの人物を紹介する」ということに対する目的意識と見通しをもって、学習に取り組めるようにする。</p> <p>□学習に対する関心をもてるように、単に相違点を挙げるだけでなく、現代の文章との共通点や読み継がれる魅力はどこにあるのかを考えることができるようにする。</p> <p><b>第二次【第2時】</b></p> <p>③ 古文と現代の文章との違いを確かめ、古文の基本的な知識（仮名遣い・文末の言葉・言葉の意味の違い）について学習する。</p> <p>○歴史的遣いを現代仮名遣いに直すときのルールを理解する。</p> <p>④ 歴史的仮名遣いに注意して音読する。</p> <p>□歴史的仮名遣いなどの現代の文章との違いを楽しみながら音読できるようにする。</p> <p><b>【第3時】</b></p> <p>⑤ 五人の貴公子からの求婚の場面（教科書P159～162L6、資料）を学習する。</p> <p>○今は使われていないことばや意味が変わったことばに注目して古文を精読する。</p> <p>○物語の要旨を理解する。</p> <p>○国語便覧や資料から登場人物について捉えたことを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解に向けて、魅力の根拠を見つけることができるように、教科書以外の部分も読ませる。</li> <li>第二次での学習が生かせるように、同じ場面をえらんだ生徒でグループを作り、音読したり、古語の意味を確認したりできるようにする。</li> <li>何を（自分のイチオシの人物やその根拠について不確かな部分や疑問点等について）、何のために（イチオシの人物を紹介する根拠を確かにするために）、どのように（他者の考えの中から、自分の考えを確かにできる情報を得るように）交流するのかを明確にする。</li> <li>生徒のより主体的な交流を行うため、交流したい人を自分で選べるようにする。</li> </ul>	<p>①文章や資料等から、目的に応じて情報を取り出す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複数の人物の読み比べをして、登場人物の違いに気付くために必要な情報を読み取っている。</li> <li>登場人物に関する情報が読み取れる描写を発見、蓄積している。</li> <li>描写と結び付けて登場人物の魅力を語っている。</li> </ul>	<p>①相手の言葉、しぐさ、表情をもとに相手の思いを感じ取る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物に関する他の人の意見を理解している。</li> </ul>

<p>□イチオシの登場人物を探せるように、5人それぞれの求婚にまつわる文章を用意し、少し登場人物が理解できたところで、「イチオシの候補」を挙げ、「もっと知りたい!」という思いを生徒から引き出す。</p> <p>□登場人物への興味・関心が広がり、より深い理解となるように国語便覧を活用する。</p> <p>□文章理解にとどまることがないように好意を寄せる相手へのアプローチの在り方の違い等を読み取り、自らの生活と照らし合わせて考えることができるようにする。</p> <p><b>【第4時】</b></p> <p>⑥ 五人の貴公子からの求婚の場面(教科書 p159~162L6、資料)や複数の資料から登場人物に関する情報を整理し、吟味する。</p> <p>□内容理解を深めるためにそれぞれの登場人物の行動やその結果、性格などを比較し、イチオシのポイントを自分なりに考えることができるようにする。</p> <p><b>第三次【第5時】</b></p> <p>⑦ イチオシの候補について、複数の描写を基に、登場人物の心情の変化、人物の関係、人物像などについて理解をする。</p> <p>□理解に向けて、魅力の根拠を見つけることができるように、教科書以外の部分も読む。</p> <p>□第二次での学習が生かせるように、同じ場面をえらんだ生徒でグループを作り、音読したり、古語の意味を確認したりできるようにする。</p> <p>□注目した描写や解釈したことをまとめさせて描写に注目すること、複数の描写から解釈することができるようにする。</p> <p><b>【第6時】</b></p> <p>⑧ イチオシの人物を選び、同じ意見の人と共有しながら、自分の考えを確かにする。</p> <p><b>【第7時】</b></p> <p>⑨ イチオシの人物を同じ意見を持つ人に紹介し、紹介する内容を吟味して、再度イチオシの人物をまとめる。</p> <p>□第6時の交流を通して、自分の考えを確かなものになっている生徒の姿を全体で共有し、考えを確かにするとはどういうことか、確かにするために必要なことは何かを理解できるようにする。</p> <p><b>【第8時】</b></p> <p>⑩ イチオシの人物を違う人物を選んだ人に紹介する。</p> <p>⑪ 単元での学習を振り返る。</p>	<p>○ICTの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの登場人物の特徴について、多くの情報に触れることができるようにする。(タブレットの活用)</li> <li>・考えを確かにするため、同じ人物を選んだ生徒でグループを作り、共有できるようにする。</li> <li>・やりとりにおける説明を、動画で説明し、よい説明をみんなで共有したり、後から聞き返したりできるようにする。(タブレットの活用)</li> </ul>	<p>②様々な情報を比較し、目的に応じて分析したり、整理したりする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の描写を比較・分析し、結び付けて登場人物の心情の変化、人物の関係、人物像などを解釈している。</li> </ul>	<p>②相手の思いや意図を自分の考えや経験と比較しながら整理する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物に関する他の人の意見を理解している。</li> <li>・解釈した内容について、自分自身の考えや価値観と比較し、イチオシの人物を選んでいる。</li> <li>・話し合い活動の中で、他の人の意見を聞きながら登場人物に関する情報を分類している。</li> </ul>
		<p>③解釈した内容を経験や知識と結び付けながら考えを深めたり、創造したりする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古文の音読に必要な文語の決まりを理解して古文を音読し、古典の世界に親しんでいる。</li> <li>・登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。</li> </ul>	<p>③やりとりを通して、相手の思いや意図を踏まえながら、自分の考えを確かなものにしたたり、創造したりする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えを確かなものになっている。話し合い活動を経て、改めて自分の考えるイチオシの登場人物について考えている。</li> </ul>